



Smithsonian
Institution

案内および地図(無料)

計19の博物館、美術館、国立動物園からなるスミソニアンは、世界最大の博物館群です。スミソニアン協会は1億3,650万点もの文化遺産や標本を所蔵し、これを米国で公開しています。また、研究機関としても知られるスミソニアン協会は、公共のための教育やサービスのほか、芸術・科学・歴史・文化分野における奨学金制度などのさまざまな活動に力を注いでいます。スミソニアン協会は、1846年に英国人科学者ジェームズ・スミソンが「知識の向上と普及」のために米国に寄贈した資金によって設立されました。

スミソニアンの博物館と美術館は、首都ワシントンのワシントン記念塔から国会議事堂に至るナショナル・モール地区に立ち並んでいます。その他6つの博物館と国立動物園はワシントン都市圏の別の場所にあり、2つの博物館はニューヨーク市に位置しています。また、芸術産業館は改修のため休館中です。

スミソニアン・インフォメーション

入館料 特に記載がないかぎり無料です。

開館時間 首都ワシントンにある大半の博物館の開館時間は、特に記載のないかぎり午前10時～午後5時30分となり、12月25日を除いて毎日開館しています。春季や夏季の開館延長時間については年ごとに決定しています。キャッスル（スミソニアン協会本部）内のスミソニアン・インフォメーション・センターの開館時間は、毎日午前9時～午後5時30分です。国立肖像画美術館とスミソニアン・アメリカ美術館の開館時間は、毎日午前11時30分～午後7時です。

電話 スミソニアン・インフォメーション: (202)633-1000(係員または自動音声)、または(202)633-5285(テレタイプライター)。月～金曜日は午前9時～午後5時15分、土曜日は午前9時～午後4時。

ホームページ スミソニアン博物館および研究機関のホームページは www.smithsonian.org です。

電子メール info@si.edu まで。

郵便 Smithsonian Information, SI Building, Room 153, MRC 010, PO Box 37012, Washington, DC 20013-7012まで。

目印 スミソニアン博物館群やナショナル・モール地区の近くに設置された案内標識の地図をご覧ください。

ツアー ほとんどの博物館で予約不要の無料ハイライトツアーが実施されています。詳細についてはウェブサイトからご覧になるか、各館のインフォメーション・デスクやスミソニアン・インフォメーションまでお問い合わせください。

無料刊行物 一般的な案内パンフレットが各種言語で用意されています。別書式の英語版パンフレットについては、各館のインフォメーション・デスクやスミソニアン・インフォメーションまでお問い合わせください。



スミソニアンへの入会 スミソニアンでは、さまざまな関心を持つ方々のために各種の会員制度を提供しています。詳しくはスミソニアン・インフォメーションまでお問い合わせください。

庭園 イーニド・A・ホーフト・ガーデン、キャサリン・デュリン・フォルジャー・ローズ・ガーデン、メアリー・リビングストン・リプリー・ガーデン、バタフライ・ハビタット・ガーデンといったスミソニアン庭園の所在地については、地図をご覧ください。天候がよい場合は、4月中旬から9月にかけて園芸家によるツアーが週1回30～45分開催されます。当日のツアーについては庭園入口の案内板をご覧ください。各館のインフォメーション・デスクまでお問い合わせください。

将来の博物館

スミソニアンで19番目、そして最も新しく設立される計画の博物館は、国立アフリカ系アメリカ人歴史文化博物館です。ワシントン記念塔に隣接するナショナル・モール地区に5エーカー(約2ヘクタール)の広さで建設され、2015年の完成を予定しています。それまでの間は nmaahc.si.edu で仮想博物館をご覧ください。仮想博物館の特徴の一つにスクラップ機能があり、閲覧者がそこに文章、画像、音声といった思い出をアップロードできます。それらの思い出は相互にリンクされ、同時にアフリカ系アメリカ人の歴史文化に登場する人物、場所、出来事といった博物館のコンテンツにもリンクされます。

全国的プログラム

全米を網羅 スミソニアン協会は全国的な機関として、文化面および教育面で価値のある、さまざまなプログラムを展開しています。

スミソニアン協会巡回展示サービス (Smithsonian Institution Traveling Exhibition Service) は、芸術、歴史、科学、文化関連の展示会を企画し、博物館や大学など各地の公共機関を巡回しています。スミソニアン・アフィリエイト・サービス (Smithsonian Affiliations) は、各地の文化団体と長期の協力関係を構築して、スミソニアンの所蔵品やプログラムを米国各地の人々に届けています。月刊誌『**Smithsonian**』では、芸術・文化、歴史・科学といった記事を提供しています。隔月刊誌『**Air & Space/Smithsonian**』では、航空宇宙に関する記事を専門的に伝えています。スミソニアン・アソシエーツ (The Smithsonian Associates) は、教育プログラム、公演、各種イベントをナショナル・モール地区や米国の多くの都市で提供しています。スミソニアン・チャンネル (Smithsonian Channel) は、歴史、科学、芸術、大衆文化に関するハイビジョンテレビ番組を提供しています。スミソニアン・フォークウェイ・レコーディングス (Smithsonian Folkways Recordings) は、世界各地の伝統文化を音声として収録しています。スミソニアン・ジャーニーズ (Smithsonian Journeys) は、専門家の深い洞察に基づく教育巡回プログラムを提供しています。

研究機関

世界規模 スミソニアンは、人文科学と芸術における世界有数の研究機関です。各館が進められている基礎研究に加えて、スミソニアンには特殊分野の研究施設が多数あります。

アメリカ美術公文書館 (Archives of American Art) は、米国のビジュアル・アートの歴史に関する貴重な原資料を所蔵しています。国立動物園の保全生物学研究所 (Conservation Biology Institute) は、園内の珍しい動物や、絶滅の危機にひんする動物の研究を行っています。スミソニアン天体物理観測所 (Smithsonian Astrophysical Observatory) は、天文学、天体物理学、地球・宇宙科学、科学教育の研究を行っています。博物館文化財研究所 (Museum Conservation Institute) は、博物館展示物に関する技術的な研究、分析、および保全を行っています。スミソニアン環境研究センター (Smithsonian Environmental Research Center) は世界人口の70%が暮らす沿岸域の生態系で発生する、さまざまな事象を研究しています。フォート・ピアス・スミソニアン海洋センター (Smithsonian Marine Station at Fort Pierce) は海洋科学の研究を行っています。スミソニアン熱帯研究所 (Smithsonian Tropical Research Institute) は、環境生物学、熱帯生物の習性や進化、環境について研究しています。

フォークライフ・フェスティバル



スミソニアン・フォークライフ・フェスティバルは、初夏の約10日間に渡って開催されます。期間中はアーティスト、ミュージシャン、ストーリーテラー、シェフといった各分野の才能たちが世界中からワシントンのナショナル・モール地区に集結し、経験や腕前を披露します。日時についてはスミソニアンのウェブサイトをご覧ください。

子ども向けプログラム: アクティビティ例

メリーゴーランド スミソニアンのメリーゴーランドは、キャッスル付からジェファーソン・ドライブを渡ったナショナル・モール地区の屋外にて、天候がよい時に年間を通じて運行されています。

アナコスティア・コミュニティ博物館 家族をテーマとする日に、美術工芸ワークショップ、音楽演奏、参加型教育プレゼンテーションが催されます。ジョージ・ワシントン・カーバー自然遊歩道のアクティビティでは、博物館を囲む公園地を子どもが探索できるようになっています。

フリーア美術館とサックラー・ギャラリー (Freer Gallery and Sackler Gallery) 『イマジニア・アジア』と題するプログラムが、大人同伴の子ども(8～14歳)を対象に実施されています。展示場を探索したり、展示テーマに関連したアートを制作して持ち帰ったりできます。物語を聞いたり、音楽や美術を通してアジアの文化を学ぶこともできます。

ハーシュホーン博物館と彫刻の庭 (Hirshhorn Museum and Sculpture Garden) 彫刻の庭のアート・ラボでは19歳までを対象とした斬新なプログラムが開催され、創造性を刺激して近代および現代美術への理解を深めます。

国立航空宇宙博物館 (National Air and Space Museum) 「飛行の仕組み (How Things Fly)」という展示ギャラリーでは飛行原理を説明し、体験アクティビティや実演が催されます。アインシュタイン・プラネタリウムでは、宇宙や天文学に関する映像が、無数の星がちりばめられたドーム型の天井に投射されます。また、5階建ての高さに匹敵する大型スクリーンでIMAX®作品を楽しむこともできます。

国立アフリカ美術館 (National Museum of African Art) あらゆる年齢層の子どもを対象に、アフリカ音楽、体験ワークショップ、ストーリーテリング、特別ツアーといったプログラムを、年間を通じて開催しています。

国立アメリカ歴史博物館ケネス・E・ベアリング・センター (National Museum of American History, Kenneth E. Behring Center) 科学と発明の体験センターであるスペース・ラボでは、発明発見の瞬間を家族で体験できます。また、体験型展示の「インベンション・アット・プレイ (Invention at Play)」では、子どもが展示物に直接触れることで学習の機会を提供します。注意: 当博物館は2011年後期より改修作業に入る計画ですが、いくつかの展示ホールを除いて開館を続ける予定です。最新の情報については americanhistory.si.edu をご覧ください。

国立アメリカ・インディアン博物館 (National Museum of the American Indian) 5月にはハワイアン・フェスティバル、秋にはデイ・オブ・ザ・デッド、また数多くのストーリーテリングやフェスティバル、ワークショップ、アクティビティ、公演といったイベントが、年間を通じて子ども向けに開催されています。

国立自然史博物館 (National Museum of Natural History) 「ディスカバリー・ルーム」や「法人類学ラボ (Forensic Anthropology Lab)」では、大人同伴の子どもを対象とした体験アクティビティを実施しています。人間の起源、恐竜、ほ乳類、地質学、海洋をテーマとした各ホール、昆虫園、バタフライ・パビリオンなどを探索できます。ジョンソンIMAX®シアターでは迫力の映像作品を楽しめます。アフリカゾウのヘンリーもお見逃しなく。

国立肖像画美術館 (National Portrait Gallery) 土曜日の芸術アクティビティやツアーをはじめとして、各種のワークショップや年間プログラムが教育センターで開催されています。また、ポートレート・ディスカバリー・キットについてはインフォメーション・デスクでお問い合わせください。

国立郵便博物館 (National Postal Museum) フォード教育センターでは、子どもがコンピューター端末で双方向型ゲームを楽しみながら郵便の仕分け方を学んだり、電子切手のコレクションを作成したりできます。

国立動物園 (National Zoo) 展示の大部分にボランティア係員が待機しています。キウイ、小型ほ乳類、魚、タコなどの観察、クモの餌付けといったイベントが開催されます。Oラインを移動する(天候による)オランウータンもお見逃しなく。時間帯についてはビジター・センターでご確認ください。

S・ディロン・リプリー・センター (S. Dillon Ripley Center) ディスカバリー・シアターでは2～16歳の子どもを対象に、年間を通じてライブ・ショーが開催されています。

スミソニアン・アメリカ美術館 (Smithsonian American Art Museum) ルース財団センターでは、メッセージを収集していく謎解きゲームや、宝探しに似たスカベンジャー・ハント・ゲームが開催されます。また、「アート・ア・ラ・カルト」、家族の日、アーティストによる実演や音楽演奏といったプログラムもあります。

ニューヨーク市のスミソニアン

クーパー・ヒューイット国立デザイン博物館



デザインの歴史やコンテンツポラリー・デザインに焦点を当てた、米国でも唯一の博物館です。展示物や教育プログラムを通して、日常生活におけるデザインのインパクトについて、独自の視点を提示します。アンドリュー・カーネギーの豪邸であったこの建物には、壁材、製品デザイン、装飾美術品、繊維品、図面、版画、グラフィック・デザインなどのコレクションが展示されています。

ハイライト デザインの回転展示と、全年齢対象の教育プログラム

2 East 91st Street (ニューヨーク市のミュージアム・マイル) スミソニアン・アソシエーツおよびミュージアム・メンバー以外は入館料が必要です。開館時間: 月～金曜日は午前10時～午後5時、土曜日は午前10時～午後6時、日曜日は午前11時～午後6時。サンクスギビング、クリスマス、元旦は休館。電話: (212)849-8300または(212)849-8400(自動音声)。ホームページ: www.cooperhewitt.org。注意: 2011年夏から2013年中ごろまで改修のために休館を予定していますが、各種プログラムを敷地外およびオンラインで提供する計画です。

メイン・エントランス・ランプ

国立アメリカ・インディアン博物館

ジョージ・グスタフ・ヘイ・センター

(George Gustav Heye Center of the National Museum of the American Indian)



積極的な展示物展開、家族向けプログラム、公演、フィルム上映などを通じて、先住民の伝統や生活様式を伝えます。

ハイライト 先住民の芸術や文化を伝えるダイカー・パビリオン、毎日のフィルム上映、資源センター、年間を通じた多数の公開プログラム

1 Bowling Green State Street と Whitehall Streetの間。開館時間: 毎日午前10時～午後5時(木曜日は午後8時まで)

メイン・エントランス西

このパンフレットの内容は変更されることがあります。スミソニアン・インフォメーションで最新の内容をご確認ください。

